



会長 橋本八右衛門 青少年奉仕 正部家光彦
副会長 妻神 和憲 幹事 小田山紀暢
クラブ奉仕 石橋 信雄 会計 岡崎 孝文
会長エレクト 山村 和芳 会場監督 鶴飼 寿栄
職業奉仕 小井田和哉 直前会長 紺野 広
社会奉仕 深澤 隆 副幹事 中村 稔彦
国際奉仕 深澤 隆 会計補佐 浜谷 英幸

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル
事務所 八戸市番町14 八戸グランドホテル内
電話 (43) 0608 FAX (43) 0661
e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp
http://hachinohe-rotary.org/
会報・広報委員長 宮下 悟 同副委員長 峯 正一
同委員 松林 拓司 同委員 上村 奉樹

国際ロータリーのテーマ — 2024~25 — 八戸ロータリークラブのテーマ

ロータリーのマジック

学ぼう、つながろう、そして一歩前へ！
～個人を磨くとクラブも輝く！再構築ロータリー～

国際ロータリー会長 ステファニーA.アーチック

八戸ロータリークラブ会長 橋本 八右衛門

5月 は 青 少 年 奉 仕 月 間 で す

第3353回例会 2025.5.21

会長要件 橋本八右衛門 会長



いよいよ5月も下旬となって参りました。わたしの年度を振り返りますと、当初委員会の皆様には、ご自分の委員会を理解しながら今年与えられた計画をこなして欲しいとお願いをしていました。残りちょっとでしたので、頑張っていることあると思いますが、やれていなかったと思われる方もいらっしゃると思います。残りで何とかまとめていただければと思います。

これは委員会もそうですが、それぞれのロータリアン個人にとっても、今年1年はどうだったのかという振り返りの時期でもあると思います。この週末にふとそういうことを思いながら、先週は3-Years Rolling Targetsでロータリーセントラルに数字を打ち込みましたという話をさせていただきましたが、そういうことを思いながらMy Rotaryも少しみてみました。当然ロータリーの基本的情報や必要な情報を引き出すためにいろいろな綱目が載っていますが、やはり一番活用できそう

なところはlearning centerかなと思っています。

わたしが幹事のときや築館智大さんがガバナーの年度には公共イメージ向上をお願いされています。今年度は会長をやる前に覗いてみてそれぞれの項目を一生懸命勉強した思いがあります。が、それ以降はあまり覗くことはなかったのですが、ちょっと最近見てみたら、いろいろと新しいことが更新されています。なので、皆さんもMy Rotaryの中に入って勉強してくださいよと言われていても、なかなか機会がないと思いますので、新しく入られた方はMy Rotaryの登録が必要ですが、今まで活用されている方もlearning centerで覗いて、ご自分の振り返りをやっていただければと思っています。

意外とコースがテーマでいろいろ分かれています。だいたい基本的なロータリーについてのコースと一般コースがあります。そこを見ていただくと改めてロータリーについていろいろな気づきがあると思います。ぜひ一度ご覧になった方も復習をされてみてほしいかと思っています。

築館智大さんにも花田ガバナーにも言われましたが、どのロータリアンがどれだけそう

いうところを覗いて勉強しているかが全部把握されているみたいなので、ぜひトライしてみればいいと思いますし、余裕のある方は言語でも分けられて、日本語コースも選べますのでぜひ興味のあるところを覗いていただければと思います。この年度、この一年、ロータリーの年度を振り返る時期に来ていますので、ぜひ心がけていただければよろしいかと思ひます。

表彰：第40回米山功労クラブ

このたび八戸クラブは第40回米山功労クラブで表彰されています。これは個人、法人、クラブ扱いの特別寄付が対象で、特別寄付額累計額が100万円を越えるごとに表彰される仕組みです。第40回ということは今まで4,000万円です。地区表彰を見ても、今まで頑張っていたでいて、八戸クラブ会長幹事たちともすごいなと言っていました、その中でも飛び抜けて寄付をしている状況です。

それでもやはり年度で振り返ると寄付をされている方もいますが、まだまだ寄付をされていない方も多いです。クラブ全体で頑張っています。個々の力です。ぜひ今後ともどうぞよろしくお祈りします。このたびは表彰されたことのご報告です。

幹事報告 小田山紀暢 幹事

○今年度委員会活動報告は6月4日と6月11



会 員 卓 話

ロータリーと私



小井田和哉さん

ロータリーに入りまして丸12年経ちました。入会順の名簿を見ますと67、8人の会員の中で30番目になりました。だいたい真ん中くらいです。

わたしの後に入会された方もだんだん増えてきましたので、以前新会員卓話でちょっと自己紹介的なものをやらせていただきま



日です。現年度各委員長には改めて書類を発送いたしますので、今年度を振り返って活動報告をお願いします。委員会活動計画のお願い

(5/27締切)

○委員会活動報告のお願い。次年度委員長の皆さんはクラブ協議会で石橋信雄会長エレクトよりお話があったと思いますが、こちらの締切は5月27日になっています。次年度各委員長は活動計画の提出をお願いします。

委 員 会 報 告

親睦会場委員会

栗谷川敏彦委員長



○ニコニコボックスの報告

・誕生祝

岡崎孝文・鴨澤 諭

田村礼吉さん

・結婚記念日

村井 達・澤藤孝之さん

橋本八右衛門さん

雨の季節になりました。

いいうたがよめそうですね、道尻さん？

上村奉樹さん

小井田さん、紺野さん本日の卓話楽しみにしています。

赤澤栄治・小井田和哉

熊谷清一さん

} ニコニコデー

スタンドで稼いでいましたが、今は本社に入って仕事をしています。次女はこの3月で大学院を卒業して4月から社会人です。仙台にいたのですが、品川の事務所の会社に入り、姉のいる日吉に近いということで、すぐに姪っこに会えるようにと武蔵小杉にいるようです。

昔の写真を見つけてきました。生まれて2～3週間くらいの孫です。恐らく3キロくらい。その当時、膝に乗っているのがデカチワワ。ただ5キロはなかったと思いますが、4、5キロくらい。明らかに赤ん坊より大きいチワワを飼っています。

わたしは1968年生まれ。父親が今はない山一証券におり転勤族でした。生まれたのは北海道旭川、1年くらいしかここにはいなかった。その後、東京の恵比寿に1年くらい。横浜に移動してここには3年くらい。横浜で幼稚園に1年だけ通って、その後八戸に戻ってきた。1年だけ千葉幼稚園にいました。その後、旭ヶ丘小学校、大館中学校、八高。大学は弘前に行きました。壊滅的に英語が苦手、英語なしで二次試験が受験できるどころということだったのが弘前大学と岩手大学だけで、引っかけたのが弘前大学。

一応4年間で何とか卒業することができました。大学生活で一番覚えたのが酒。大学にいる間はほぼ毎日酒を飲んで、お酒を飲むためにアルバイトという生活が続いていました。何とか4年間で卒業しましたが、一緒に飲み歩いていた同級生で仲の良い二人は半年卒業が遅れて、社会人になるのが半年わたしのほうが先輩、というところでした。

プロフィール②：社会人になってからは松下電器産業に入社しました。今のパナソニックです。入社しますと2週間くらい研修がありました。高卒、短大卒、大卒、大学院卒などありますが、全部同じ年に入社したのは2,000人くらいいたと聞いています。2,000人を一か所で入社式ができないので、松下の大阪本社と東京に分けて入社式をやる。わたしは青森なので近いほうの東京かと思っていたら、あんたは大阪へ行きなさいということで、

大阪の門真の本社で入社式をやりました。その後2週間くらい宿泊する施設で研修を受けました。

入ってすぐの研修と言っても経営幹部の皆さんの話を聞くのが多かったのですが、ほほもれなく幹部の方は松下幸之助の話をする。こういうときに幸之助はこういった、幸之助はこういうことしたという話ばかり聞かされて、まさに宗教のような（ロータリーもそうですが）、松下電器社歌、遵法すべき精神など、そういうのを全部覚えさせる。ロータリーは宗教ではありませんが、松下は宗教みたいな会社でした。

入社式の2週間が終わりますと、松下通信工業という松下のグループ会社に配属になることが決まっています。そこで製造実習が3か月ありました。機械の中に入っている緑の基盤にICなど細かい部品を付けるラインに入って、製造現場を知りなさいという研修です。これが3か月。

それが終わると販売実習といって町の電気屋さん、日本全国にナショナル、パナソニックの小さい電気屋さんがいっぱいありますが、ここで手伝いをする研修があります。これも実はふつうは自分の地元に戻って実家から通えるところに行くのですが、お前は田園調布の電気屋に行けということで、このときは寮に入っていたのですが、さらにそのままわたしだけ寮に残り田園調布の電気屋さん。今でも覚えています。電子堂という電気屋。駅を降りてまっすぐ行くとありますが、ここで約1か月くらい研修を行いました。夏休みくらいに1週間くらい休みがもらえて、8月20日過ぎに配属になりました。

配属されたのが松下通信工業の直轄営業部



です。通信工業は横浜の綱島に本社があり、直轄営業部だけが東京にあった感じで、約1時間半かけて東京に通っていました。この部署は今はなくなりましたが、郵政省が霞が関にあり、郵政省を担当している営業部隊で約15~20人弱くらいの部署でしたが、けっこう売り上げが大きく多い時で300億近く郵政省に物を収めるという感じの部署でした。ここに約7年くらいいて異動になりました。

今度は同じ松下通信工業の放送システム事業というテレビ局に納める機材を収める部署でした。これは事業部制という松下独自の事業部側、工場側の営業になります。東京のキー局といわれる日テレ、TBS、フジ、テレビ朝日、テレビ東京を担当します。今度は営業が2つ、テレビ局側の営業と工場側の営業の2つあるのは効率が悪いので窓口。勤務時間は東京に戻ったり。そうこうしているうちに、ちょうど地上波デジタル、地デジというのが始まった頃で、キー局が地デジ対応が終わった後、地方のテレビ局の地デジを進めていくということで、担当が静岡や栃木のテレビ局、ラジオ局になって、静岡に毎日のように通っていました。新横浜からこだまで行くということが続けていました。

そうこうしているうちに、八戸に戻って来いということもあり、同期入社が2,000人近くいるとこれ以上偉くなれないのかなというところで、そろそろ八戸に戻ろうかということで、36才のときに八戸に戻って八戸燃料に入社しました。

戻ってからロータリーに入会するまでは省きます。2013年4月に入会しました。今で丸12年です。4月入会なので4、5、6月と翌年度の1年3か月は親睦会場委員会をやって、すぐ副幹事、翌年幹事。この年の会長は接待一雄さんで60周年の年でした。わけも分からず副幹事、幹事をやりました。

その後2020年会長エレクト、その翌年に会長を仰せつかりました。ここのエレクトと会長の年はもろコロナ禍のときで、エレクトの時の会長は道尻誠助さんでしたが、ほとんど何も活動ができない。例会も何とか開こうと

しても例会でクラスターが出ないように衝立を用意してくれ、食事は席を離す、テーブルを何人にしようかということばかりやっていた記憶があります。他にもいろいろ委員会はやっていますが、2023年築館智大さんがガバナーの年の2か月前の5月にやったDTA（地区研修協議会）の実行委員長をやらせていただき、築館さんがガバナーになってからの地区大会の総務委員長をやらせていただきました。

ここで印象に残っているのは幹事。わけもわからない中、幹事をやらせていただいた。会長は何もできない中でも何とかやろうといういろいろあがいた1年だったと思います。また初めてやった実行委員長はDTA、地区研修協議会でした。ひじょうに忙しかった、大変だったのが地区大会の総務委員長だったということで印象に残っています。

ロータリーとわたし：ロータリーに入ってから良かったことは、ありきたりですが年齢も業種も違う人と知り合える。奉仕がというよりはわたしは人と知り合えて、皆さんと一緒にワイワイ話ができるということがひじょうに良かった。今現在続けている、自分でももうすぐ辞めるのではないかと考えていながら12年続けている理由は、やはり親睦が第一。親睦と奉仕とよく言われますが、その奉仕よりはわたしは親睦が一番目かなと思っています。皆さんとわいわい大学4年間で勉強したお酒を楽しく飲むのがひじょうに楽しいということで、今続けているのかなと思います。

入ったからには：わたしより後に入った皆さんもいらっしゃいますので、入ったからにはまずはやってみよう。ロータリーにはNOがないと言われますが、できないことはできないと、NOがたまにはあるとおもいますが、やはりできることはぜひ一生懸命やっていただきたい。特に次年度は70周年がありますし、小林幹夫ガバナー補佐が誕生して、南グループIMや南グループの幹事クラブもあります。するとクラブ内の活動だけでなく、いろいろと南グループ全体の活動も増えてきます。これから皆さんにもいろいろお願いする役割を

お願いすることもあると思いますので、ぜひ
じゃやってみようかなという気持ちでお手伝
い、あるいは自ら率先して参加していただ
ければと思います。

米山奨学生について

外国人特定技能実習制度 紺野 広さん



特定技能、外国人研修の話
と米山の話をしたと思います。

クラブの寄付が青森県1位
ということでひじょうに誇ら
しいことだと思う反面、そんなに頑張っ
て続ける事業なのかなという気もしま
す。毎年のように卓話に来ていただ
いている子たちは本当に素晴らしいと思
っていますが、今回、当
クラブで預かった子はチャーミングで性格も
悪くないのですが、米山に対するありがた
さをあまり感じていられなさ
りなかなという気がひじょうにしま
した。毎月10万円のお
金を払って、夜例会にもときどき来て
いただきましたが、最後は修了式にも
出ず、会長にもご挨拶もなく旅立
たれたということを知りました。

米山財団のほうはロータリーとは少し一
線を画した組織のようで、関係が深い
ことはそうですが、それ自体は独立し
た組織です。1952年に立ち上がった
組織です。米山翁がその組織を立ち
上げたわけではなく、東京ロータリー
クラブが終戦後7年目にして立ち上
げた組織です。当時は終戦の最中、日
本は平和で、そして国際協力もしっか
りとした日本で学んでくださいとい
うことで始めた組織のよう
です。その当時の為替や経済状況の
アジア諸国との差は今以上だったで
しょうから、ひじょうに金銭的な面
で苦勞した学生さん
もいっぱいいたのではないかと思
います。米山翁も8年間アメリカに
留学されていたときにはやはり
経済的な問題でひじょうに苦勞な
さった留學生活を送られたとい
うことです。

その米山翁の功績を讃えて東京ロー
タリークラブが米山財団を作ったよ
うですが、その当時の日本に
来て勉強したい、苦勞しても勉

強したいという子たちと今の海外から
いらっしゃる子たちは少し違
うのではないかという気が
します。

程佳萌さんは入学のときではなく、こ
ちらから留学生はいませんか、奨学
金を受取る人はいませんか？とい
うことで探して奨学金を授与した
経緯も聞いています。本当に困
っている子はその制度を探して自
分からいらっしゃるんでしょ
うから、あまりそういう押し
売りみたいなことはする必要は
ないのではないかと気が
します。

一方、われわれ医療現場もそう
ですし、皆さんの業界もひじょう
に人材不足のせいで疲弊して
いるのでは。われわれ八戸赤
十字病院は看護師不足で精神
科病棟を閉鎖しました。それ
から一般病棟は8病棟あり
ますが、1病棟は44床の
うち14床使わないとい
うことで30床でやって
います。これも人材不足の
影響です。

今評判の悪かった技能研修の反省
から特定技能制度が設けられ
ました。5年間特定技能1号
を取ると日本で働ける。築
館智大さんのところでも
特定技能を雇っていますし、
太平ビルサービスさんでも
わたしのところも、今年4
社ほど面談をしてみよう
と介護の分野から採用を
始めようと思っています。
特定技能2号を取ると、
それは永久ビザに相当する
形になって、日本にずっと
いて、家族と共に生活
ができる資格も持てます。
これからはもっとも
っと人口が減る中で、
そうやって日本に永
住して働いてくださる
人たちをもっとも
っと増やしていくこ
とは大事な事
ではないかという
気が
します。

一方、1号から2号に移行するに
当たっては日本語検定、その他
の11の業種で特定技能の
制度があります。例えば農
業、接客、外食産業など。
介護は特定1号の道はあり
ますが2号はない。なぜ
介護の分野で2号がない
かと言うと日本の介護
福祉士の制度が特定
技能2号に相当するとい
う解釈のもとで特定
2号の分野には入って
いません。海外の人が
介護福祉士を取
るのはひじょうに
たいへんです。

ここ1か月くらいの間に八戸工業
大学、八

戸学院大学の2つの大学で外国人の留学生を育てる講座の報道がありました。10名にも満たないようですが、そういう方がどんどん増えていかないと地域がどんどん疲弊していくのだらうという気がしています。市もあまり動いていませんし、国際交流協会（武輪俊彦会長）の活動もそれほど活発なものではありません。本当に今地域に求められているのはそういうことなのではないかという気がしています。

米山梅吉翁も実際に何をしたかという信用託銀行の社長を終わって、晩年には医療への方へ、特にハンセン氏病に対する援助、小学校を作って子どもたちの教育に資する活動を行ったり、私財を投げうっての活動をやっています。そういうことをされています。自分が留学時代は苦学生ではありましたが、そっちの方に目を向けていらっしゃったわけではない。が、やられたことは地道な地元に対する貢献であったということです。米山梅吉翁の功績を讃えて、東京ロータリークラブが彼だったらこうしただらうということで米山財団を作って今までずっと続いて来ています。

が、実際われわれがこれから考えていっていいのはもっと身近な、地元に対してできる

こと、そしてその中で国際貢献につながることでできればいいのではと思っています。自分が人材不足で悩んでいることもありますが、これからのいろんな産業の各分野において、必ず必要になってくることだらうなと思っています。そういう方面にも目を向けて活動していくのもロータリーかな。

大元にはロータリーは国際的リーダーを育てることをうたっていますので、日本で働くそういう方々を呼べるのかということもあろうかと思いますが、少なくとも一定以上の資格をもって日本永住資格を取る。後身に指導できるような人、そういう人がそのコミュニティの中でじゅうぶんリーダーと呼んでいいかと思います。地域にとってはひじょうにありがたい方々になってくると思います。

米山を全否定するわけではありませんが、経済状況の格差がなくなって、教育格差も国の間もなくなってきている中で、自立して日本に来ていらっしゃる方に取って支援をするよりは、特定技能の方は各国の地方の方々が多く、やはり貧困に悩んできている方たちに手を差し伸べることはわれわれの理念に合致することなのかなという気がしてお話をさせていただきました。

出席報告						出席委員会																	
第3353回例会（5月21日）				第3351回例会（4月23日）																			
出席率		58.2%		出席率		50.8%		修正出席率		58.5%													
総会員数		68名		出席数		39名		総会員数		67名		メイクアップした人数		5名									
出席義務会員		67名		出席免除会員		1名		欠席数		29名		出席義務会員		62名		出席免除会員		3名		欠席数		27名	